看護過程を展開

小児の発達と看護

小児の発達と看護



雷子版あり

●B5判 448頁 カラー 定価4,180円 (本体3,800円+税10%) ISBN978-4-8404-8770-2 第8版 2026年1月

本書の内容

- ●イラストや動画を使った巻頭図解ページで、「子ども」を視覚的に紹介。さらに、乳児期~思春期の各段階の特徴や生活もイラス ト+解説の理解しやすい紙面で構成。子どもに興味をもって看護の学びが始められます。
- ●子どもを「発達していく主体」として捉える考え方を丁寧に紹介。子どもの権利や成長をより身近に感じられる内容に。看護の視 点を広げます。
- ●成長・発達→症状→健康障害→事例と、自然な流れで学べるように章立てを再編。知識が整理されているので、理解が深まりや すく、調べるのにも役立ちます。
- ●事例は、前章までの症状のある子どもや、健康障害をもつ子どもと家族の特徴を理解したうえで、事例紹介・アセスメント・関 連図・ケアプランと実施および評価について学ぶ流れとなっています。実践の場における重要課題の気付きにつながります。
- 「看護職の倫理綱領」 「子どもの権利条約」 「離乳の支援の方法」 「小児のフィジカルイグザミネーション」 「子どもの検査とバイタル サインの基準値」などの詳説資料はQRコードから読み取って活用できます。

中野	綾美	高知県立大学名誉教授	髙谷	恭子	高知県立大学看護学部教授
----	----	------------	----	----	--------------

■ 執 筆 (掲載順)					
中野を養美	高知県立大学名誉教授<巻頭図解①②,1章1節,2章図解,4章6節・7節4 \sim 5 \sim 10節1 \sim 5 $>$	田之頭恵里 濱田 米紀	高知県立大学看護学部助教 < 3章1·2·6節 > 兵庫県病院局管理課看護専門官·小児看護専門看護師		
髙谷恭子	高知県立大学看護学部教授<巻頭図解①②, 1章4節, 2章図解, 3章5·7~10節, 4章2節, 5節1~2·7節1~3·10節1~5, 5章1節>	川島 美保 平林 優子	<3章3節,5章5節> 聖カタリナ大学看護学部教授<3章4節> 信州大学医学部保健学科看護学専攻教授<4章1節1・3~6>		
田中 克枝 益守かづき	八戸学院大学看護学部看護学科教授<1章2節> 久留米大学医学部看護学科教授<1章3節,2章7節>	宗村 弥生	山梨県立大学看護学部母子成育看護学教授 <4章1節2·5節3~6>		
五十嵐ゆかり	聖路加国際大学大学院看護学研究科ウィメンズヘルス・助産学 教授<1章3節コラム>	鈴木 千衣 染谷奈々子	佐久大学看護学部看護学科教授 < 4章3節 > 横浜創英大学看護学部教授·小児看護専門看護師 < 4章4節 >		
上野 昌江	四天王寺大学看護学部教授 <2章1節1~3・1節コラム, 4章12節>	品川 陽子	大分県立病院看護師長·小児看護専門看護師 <4章5節7,5章2節>		
幸松美智子	大分大学医学部看護学科実践看護学講座生涯発達看護学領域准 教授<2章1節4,2章4節>	萩原 綾子	神奈川県立病院機構本部事務局看護担当部長·小児看護専門看護師<4章8節,5章3節>		
佐東 美緒 勝田 仁美 吉川亜矢子	活水女子大学看護学部教授<2章2・3節> 兵庫県立大学名誉教授<2章5節> 大阪大学医学部附属病院小児医療センター・小児看護専門看護師	演田 裕子 有田 直子	下関市立大学看護学部教授 < 4章9節, 5章4節 > 高知県立大学看護学部准教授·小児看護専門看護師 < 4章10節6,5章6節 >		
植田陽子	<2章5節> Nurse Fight代表<2章5節コラム>	三宅 一代 石浦 光世	兵庫県立大学看護学部小児看護学准教授<4章11節> 関西医科大学看護学部講師·小児看護専門看護師		

図解1●子どもは大人とどう違う? 図解2●子どもの成長・発達を見てみよう

第1章 小児看護学で用いられる概念と理論

小児看護とは/小児看護の歴史と意義/子どもの権利と看護/小児看護で用いられる

二宮 啓子 神戸市看護大学看護学部小児看護学教授 < 2章6節 >

第2章 社会の中で育つ子どもの成長・発達と看護 図解●「こどもまんなか社会」を目指した「こども施策」

子どもと家族に関する法律・施策/成長・発達の原則/乳児期の子どもの成長・発達 と看護/幼児期の子どもの成長・発達と看護/学童期の子どもの成長・発達と看護/ 思春期の人々の成長・発達と看護/発育の評価

第3章●子どもにみられる特徴的な症状と看護

子どもの症状の特徴/全身状態のアセスメント/痛みのアセスメントと看護/発熱時 のアヤスメントと看護/脱水時のアヤスメントと看護/発疹時のアヤスメントと看護 /嘔吐時のアセスメントと看護/下痢時のアセスメントと看護/けいれん時のアセス メントと看護/呼吸困難時のアセスメントと看護

第4章 健康障害をもつ子ども・家族への看護

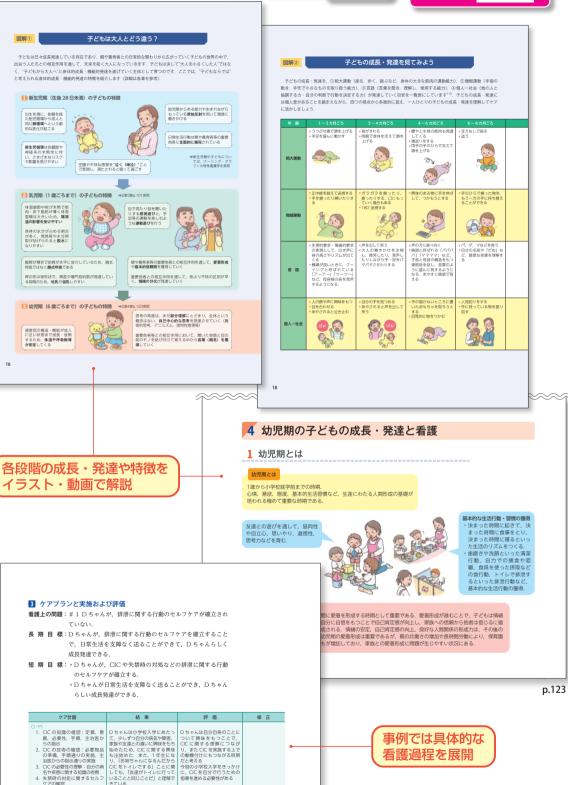
<4章13節,5章7節>

健康障害や入院が子どもと家族に及ぼす影響と看護/急性期にある子どもと家族への看 護/外来における子どもと家族への看護/検査や処置を受ける子どもと家族への看護/ 手術や集中治療を受ける子どもと家族への看護/慢性期にある子どもと家族への看護/ 生命を脅かす病気をもつ子どもと家族へのエンドオブライフケア/先天的な健康問題を もつ子どもと家族への看護/心身障害のある子どもと家族への看護/在宅における子ど もと家族への看護/災害を受けた子どもと家族への看護/被虐待児(虐待を受けている 可能性のある子ども)と家族への看護/成人への移行期にある子どもと家族への看護

第5章●健康障害をもつ子ども・家族への看護過程の展開

集中治療を受けている子どもと家族への看護/ハイリスク新生児と家族への看護/先 天的な健康問題をもつ子どもと家族への看護/心身障害のある子どもと家族への看護 / 痛みのある子どもと家族への看護 / 在宅で終末期を迎えている子どもと家族への看 護/成人への移行期にある健康障害をもつ子どもと家族への看護

日本に住む外国ルーツの子ども/子どもと家族に寄り添う子育て広場/学校で働く看



p.402

きている CICの手技に関しては、特に滅

小児看護技術



雷子版あり

●B5判 312頁 カラー 定価3,520円 (本体3,200円+税10%) ISBN978-4-8404-8771-9 第6版 2026年1月

本書の内容

- ●本書では、子どもを「発達していく存在であり、年齢や健康レベルにかかわらず、権利を有し行使することができる主体である」 (編者の言葉より)ととらえ、子どもの権利を擁護し、安全で安楽なケアを行うための看護技術を学ぶことに重点を置いています。
- ●巻頭に「乳幼児の発達の目安」と「基本的生活習慣獲得の目安」を掲載。乳幼児の発達や食事・排泄・衣類の着脱などの基本的生活 習慣獲得をアセスメントする際に活用できます。
- ●各看護技術の目的や背景を基礎知識として理解してから、技術の習得に入ることができます。また、各技術に「プレパレーショ ンの視点」を示し、実施時に意識できるようにしています。
- ●豊富な写真やイラストで、手技の流れや注意点がより理解しやすくなり、臨床実習でも役立ちます。
- ●コラムを各章末に掲載し、臨床現場における小児看護の実際や、実習での心構えを学ぶことができます。

■編集

中野 綾美 高知県立大学名誉教授

■ 執 筆 (掲載順)

中野 綾美 高知県立大学名誉教授 <1章, 1章コラム>

佐東 美緒 活水女子大学看護学部教授 <2章. 4章. 10章1·2節>

清重真衣子 高松赤十字病院看護部 <2章コラム>

関西医科大学看護学部講師・小児看護専門看護師

<3章、3章コラム、10章3節>

幸松美智子 大分大学医学部看護学科実践看護学講座生涯発達看護学領域准

教授 < 4章 コラム、10章 コラム、11章 >

萩原 綾子 神奈川県立病院機構本部事務局看護担当部長・小児看護専門看

護師 <5章. 5章コラム>

染谷奈々子 横浜創英大学看護学部教授・小児看護専門看護師

<6章, 6章コラム>

高谷 恭子 高知県立大学看護学部教授

髙谷 恭子 高知県立大学看護学部教授 < 7章 >

福岡県立大学看護学部准教授・小児看護専門看護師・認定看護 三浦由紀子

管理者<7章コラム>

高知県立大学看護学部准教授・小児看護専門看護師

<8章. 8章コラム>

兵庫県病院局管理課看護専門官・小児看護専門看護師

<9章、9章コラム>

加藤 依子 札幌市立大学看護学部小児看護学領域准教授 <11章コラム>

■協力

元 宮城県立こども病院副院長 <3章施設写真(宮城県立こども病院)>

第1章●援助関係を形成する技術

援助関係を形成する上で必要な基礎知識/子どもとの援助関係を形成する技術/家族 との援助関係を形成する技術/援助関係を形成する技術の活用

第2章 健康状態を把握するための技術

健康歴の聴取(問診)/健康状態の観察/バイタルサインの測定/身体計測

第3章 安心・安全な環境を調整する技術

子どもの視点に立った病院の物理的環境/発達段階に応じた環境づくり/睡眠と休息 に適した環境づくり/事故を防止する環境づくり/感染予防のための環境づくり

第4章 ●食事の援助技術

子どもへの食事援助の実際/子どもの健康状態に応じた食物・栄養摂取方法とケア/ 在宅でのケアの実際

第5章●排泄の援助技術

おむつ交換/排泄行動の自立への援助/浣腸/導尿 (CIC) /ストーマケア

第6章●清潔・衣生活の援助技術

沐浴/入浴/清拭/洗髪/口腔ケア/衣服の交換

第7章 安全・安楽を確保する技術

安楽な体位/処置やケアへの遊びの活用/安全・安楽を考慮した行動制限

第8章 与薬の技術

与薬に必要な基礎知識/経口薬/坐薬/注射/輸液療法/輸血療法/点眼・点耳/塗 布剤 (皮膚外用薬)

第9章●呼吸・循環を整える技術

酸素療法/吸引/吸入/体位ドレナージ/人工呼吸器の管理/体温の調整(温罨法・ 冷罨法を含む)

第10章 症状・生体機能の管理技術

検体の採取/検査/検査・治療処置時の睡眠導入のための環境づくり

第11章 軟急救命の技術

救急救命/救急蘇生法の実際/その他の応急処置

高度実践看護師として活躍する小児看護専門看護師/子どもが泣いてバイタルサイン 測定ができません/倫理的視点から子どもと家族の痞養を整える/看護はアート(創 造) である/患者、家族の長い人生を長距離伴奏するパートナーであること/医療・ 看護の質の向上を目指して協働する「チェンジエージェント」/医療的ケアが必要な1 型糖尿病の子どもと家族を支えるチーム医療/子どもの苦痛緩和ケアをチームで協働 して考える/小児専門病院における小児看護専門看護師の活動/緊張は伝染する/看 護学実習における学生への学習支援

豊富な写真で具体的に解説

3 入原生活において、子どもが安心して力を発揮できる望ましい環境について理解できる。3 病棒の日間と子どもの生活リズムの開催、機能と休息に必要な環境を整える方法を習得する。 0 子どもの薬が防止の方便について理解し、実施も含めた事が防止の取り組み方法を到指する 子どもの感染に禁する無理知識を理解し、感染予防の方法を習得する

(22400HD707HD8HN0H0:007240HB707HD8HHT30HD8HN0H0)

日 曜:つかまり立ちを始めた気型無路の子どもの転倒・転高を干防する 状 第:原語感染度で入院しているひかりちゃん Pカ門、女児、安谷 は、無路し活気が出てきている。

製みは、抗菌薬投与を保持している。 前子どもができること・子どもの力:ひかりちゃんはベッド機を使ってつかまり立ちをし始める。母親

や事項目が多めてくれるので、事業そうに繰り返し、上達している。 親が検究する力:母親は日を着した際にひかりちゃんが転落するリスクを予禁して、少しでも解れる ときには各ずペッド機を上的まで上げている。

はデビモのセルフケアの見着め、ひかりちゃんは運動機能や認知機能が発達選配にあるため、つかまり立ちを楽しんざいるときにパランスを削して転換したり、形理がやばを離れたり、いない場合には、 難いてペッド器を乗り越えようとして転寄するリスクは大きい

②看護支援:子どもの現在の庫職機能と認知機能の発達状況に作い、どのような場所で転倒・観路する リスクがあるかについて、毎期と異体的に共有しておく必要がある。また、保療状態の回復と母親の 注意状況を確認し、リスクが高い場合には繰り返し設明する。

1 子どもの視点に立った病院の物理的環境

入院生活を送る子どもや、外来選院をする子どもの視点に立った態設内の型 関づくりは、子どもの安心につながる¹¹、物理的環境には温度・湿度。明る き、音、におい、子どもの生活空間(病薬、プレイルームはか)などがある。 近藤龍は、子どもの成長・発達を推進したがら、子どもに送した倒壊を整える

1 温度・湿度と明るさ、音、におい

子どもに適した物理的環境の整備 38.38.90

要用独設内の進度・温度は空間システムにより設定されて いる、両面内で温度関節ができる場合は、両面内外の温度 単が生じないように対象する。

状況設定から支援のあり方が イメージしやすい

●押し込み集べ (間の込み) で目での入れ込みが見られるが、然なくない相

切と手の動きを上手に合わせる協議機能が立まく行えずに能での入れ込みが 見られるが、自我の事務ともいえるので、自任で行うことを確認する。

・食業の選挙、接位 ・企業の数単、接位 ・企業の数単に、今までをリ、一つかたまさを大きなものにする。一口で はませまれて、場合では必要したもの。他では可能となっし、文子 の職を指数の機能、1日1日、時日日1・2回程度 ・公本表す、自分できたいたいうきが対象でもあ、からロトレーニング カップを用いてもより、ストローはたくコム系にすぎてむするとも ある。

子どものアセスメントに役立つ

ODYS. SCORESWEYS



-目でわかる

小児看護技術

小児の疾患と看護



雷子版あり

●B5判 528頁 カラー 定価3,520円 (本体3,200円+税10%) ISBN978-4-8404-7844-1 第3版 2023年1月刊行

本書の内容

- ●小児に関わる膨大な数の疾患から、教育的な視点と臨床でよく遭遇するものという視点から疾患を厳選しています。
- ●各疾患は、原因や診断・治療、ナーシングチェックポイントまで解説し、実習はもちろん臨床に出てからも活用できる内容です。
- ●各章の最後に、国家試験の状況設定のような、事例を通して臨床場面をイメージしながら看護が学べるよう構成しました。
- ●各章末には「臨床場面で考えてみよう」を収載し、家族から質問されそうなことや臨床場面で遭遇しそうなことをQ&Aで紹介。

■編集			
中村 友彦	長野県立こども病院名誉院長	西沢 博子	長野県立こども病院副院長兼看護部長
■ 執 筆 (指	引載順)		
小田 新	長野県立こども病院新生児科部長 <1章1~3節・4節1~9・5節・6節>	北原 梓 高木 志帆	すわ内科糖尿病クリニック副院長<11章2節・3節1~5> 東京女子医科大学病院看護部・小児看護専門看護師<11章4節1>
北澤憲孝	長野県立こども病院眼科部長 <1章4節10, 13章1節4, 17章1節, 20章1節5>	金井 太郎 坂下 一夫	長野県立こども病院北4階病棟看護師<11章4節2> 長野県立こども病院血液腫瘍科部長
上條恵理香	長野県立こども病院新生児病棟・新生児集中ケア認定看護師 <1章7節1・2>	塚田織会	<12章1節, 13章1節2・3・5~7> 長野県立こども病院第1病棟・がん化学療法看護認定看護師
岡部 稔枝	長野県立こども病院新生児病棟・新生児集中ケア認定看護師 <1章7節3・4>	宮入洋祐	(12章2節2, 13章2節) 長野県立こども病院副院長兼脳神経外科部長
武田良淳	長野県立こども病院遺伝科部長<2章1~3節, 15章1節1>		<13章1節1, 14章2節>
矢口貴一郎 近藤 由佳	信州大学医学部形成再建外科学教室助教<2章4節,19章1節> 長野県立こども病院新生児病棟・認定遺伝カウンセラー [®] <2章5節1・2>	本林 光雄 稲葉 雄二	長野県立こども病院神経小児科部長<14章1節1~4> 長野県立こども病院病院長 <14章1節5~8・3節,16章1・2節>
小坂 千恵 竹内 浩一 牧内 成子 小笠原真織	長野県立こども病院北4階病棟看護師<2章5節3> 桜の丘こどもクリニック副院長<3章1節、4章1~5節> 元長野県立こども病院看護師<3章2節> 長野県立こども病院外来・小児看護専門看護師 <4章6節1、16章3節1>	今井 憲 白井 真規 藤森 伸江 平塚 滉脩 上條みどり	東京都立小児総合医療センター神経内科医員<14章1節5~8> 長野県立こども病院神経小児科医長<14章3節> 長野県立こども病院・小児教急看護認定看護師<14章4節1・2> 長野県立こども病院・小児教急看護認定看護師<14章4節3> 長野県立こども病院指護部・皮膚排泄ケア認定看護師
村山 優子 伊藤 靖典	長野県立こども病院第1病棟看護師長<4章6節2, 12章2節1> 長野県立こども病院小児アレルギーセンターセンター長 <5章1節, 6章1・2節>	酒井 典子 野口 昌彦	<14章4節4, 19章4節> 長野県立こども病院整形外科副部長<15章1節2~4・2節> 長野県立こども病院形成外科部長, 信州大学医学部形成再建外
大和 麻未	長野県立こども病院第1病棟・小児アレルギーエデュケーター <5章2節1>	林寿美	科学教室特任教授<15章1節5> 元 長野県立こども病院看護師<15章3節1>
春名 洋子	長野県立こども病院第1病棟・小児アレルギーエデュケーター <5章2節2>	前田 真那 那須野 将	元 長野県立こども病院看護師<15章3節2> 信州大学小児医学教室医師<16章1節>
市川 雅恵村井 健美横山由香里	長野県立こども病院外来・小児看護専門看護師<6章3節> 長野県立こども病院感染症科副部長<7章1~3節,8章1・2節> 長野県立こども病院手術室看護師長/感染制御室・感染管理認 定看護師<7章4節>	五味 優子 竹内史穂子 三澤 由佳	長野県立こども病院リハビリテーション科医師<16章2節1~3> 長野県立こども病院神経小児科医師<16章2節4・5> 長野県立こども病院リハビリテーション科部長 <16章2節6~10>
木村ゆみ子	北里大学病院看護部·小児看護専門看護師 <8章3節1, 17章2節1>	丸田 照美	長野県立こころの医療センター駒ケ根デイケア科副師長・精神 科認定看護師<16章3節2>
水谷 里香 黒沢 和美	長野県立こども病院北4階病棟副看護師長<8章3節2> 長野県立こども病院集中治療病棟副看護師長<8章3節3> 長野県立こども病院集中治療病棟副看護師長<8章3節3>	大仁田志保 佐藤梨里子	長野県立こども病院新生児病棟看護師<17章2節2> 長野県立こども病院耳鼻咽喉科部長<18章1~3節>

D カボ プロフて	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
	<5章1節,6章1・2節>	野口 昌彦	長野県立こども病院形成外科部長,信州大学医学部形成再建外
大和 麻未	長野県立こども病院第1病棟・小児アレルギーエデュケーター		科学教室特任教授<15章1節5>
	<5章2節1>	林 寿美	元 長野県立こども病院看護師<15章3節1>
春名 洋子	長野県立こども病院第1病棟・小児アレルギーエデュケーター	前田 真那	元 長野県立こども病院看護師<15章3節2>
	<5章2節2>	那須野 将	信州大学小児医学教室医師<16章1節>
市川 雅恵	長野県立こども病院外来・小児看護専門看護師<6章3節>	五味 優子	長野県立こども病院リハビリテーション科医師<16章2節1~3>
村井 健美	長野県立こども病院感染症科副部長<7章1~3節,8章1・2節>	竹内史穂子	長野県立こども病院神経小児科医師<16章2節4・5>
横山由香里	長野県立こども病院手術室看護師長/感染制御室・感染管理認	三澤 由佳	長野県立こども病院リハビリテーション科部長
	定看護師<7章4節>		<16章2節6~10>
木村ゆみ子	北里大学病院看護部・小児看護専門看護師	丸田 照美	長野県立こころの医療センター駒ケ根デイケア科副師長・精神
	<8章3節1, 17章2節1>		科認定看護師<16章3節2>
水谷 里香	長野県立こども病院北4階病棟副看護師長<8章3節2>	大仁田志保	長野県立こども病院新生児病棟看護師<17章2節2>
黒沢 和美	長野県立こども病院集中治療病棟副看護師長<8章3節3>	佐藤梨里子	長野県立こども病院耳鼻咽喉科部長<18章1~3節>
赤澤 陽平	長野県立こども病院循環器小児科副部長<9章1・2節>	工 穣	信州大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室教授<18章1~3節>
宮川久美子	長野県立こども病院集中治療病棟看護師<9章3節1>	鈴木 伸嘉	なのはな みみ・はな・のどクリニック院長<18章4節>
好沢 志保	長野県立こども病院集中治療病棟看護師<9章3節2>	鈴木めぐみ	なのはな みみ・はな・のどクリニック看護師<18章4節>
高見澤 滋	長野県立こども病院小児外科部長	中西 健史	明治国際医療大学臨床医学講座皮膚科教授<19章2・3節>
	<10章1節・2節4・3節4・7・5節・7節>	北村 真友	長野県立こども病院小児集中治療科部長<20章1節1~4・2節>
好沢 克	長野県立こども病院小児外科副部長	鈴木さと美	聖隷浜松病院小児病棟/小児外来・小児看護専門看護師
	<10章2節1~3・3節1・2・6節2・3>		<20章3節1>
中山 佳子	信州大学医学部保健学科看護学専攻小児・母性看護学領域教授	森山 由紀	長野県立病院機構本部研修センター・小児救急看護認定看護師
	<10章2節5・3節8~12・6節1・4>		<20章3節2>
笠井 智子	長野県立こども病院小児外科副部長	山田咲樹子	元 東京女子医科大学病院看護部·小児看護専門看護師
	<10章3節3·5·6·4節,11章3節6>		<20章3節3>
吉川 絵梨	長野県立こども病院北4階病棟看護師<10章8節1>	南 希成	長野県立こども病院訪問ケア科部長<21章1節1・2節3・4>
寺島 憲治	長野県立こども病院北4階病棟看護師<10章8節2>	福島 華子	長野県立こども病院副看護部長・療育支援部次長
桜庭 直人	長野県立こども病院北4階病棟副看護師長<10章8節3>		<21章1節2·2節2·6>
大森 教雄	長野県立こども病院小児集中治療科医長<11章1節>	降籏和美	長野県立こども病院療育支援部看護師<21章2節1・5>
市野みどり	長野県立こども病院泌尿器科部長<11章2節・3節1~5>	林部 麻美	長野県立こども病院副看護部長<22章>











豊富な写真・図表 で疾患への理解が 深まる

p.334



具体的で現場をイメージ しやすい事例と解説

6 内分泌疾患をもつ子どもと家族への看護

1 成長ホルモン分泌不全性低身長症

現病歴: 市の検診で低身長を指摘され、母とともに病院を受診した、Aちゃんに受診歴はなく、採血などの検査 を聞き、大きくなりたいと言っていた、母親は外来受診時に、自宅では両親が交代で注射を行っているがAちゃ んは毎日泣きながらの注射であると話した

初回受診時の看護

成長ホルモン療法は自宅での継続的な皮下注射であるため、治療を継続的に

行うためには、悪児と家族の動機付けとモチベーションを維持することが大切

p.115

第1章 新生児疾患と看護

分娩外傷/適応障害/感染症/低出生体重児にみられる疾患/成熟異常/合併症妊娠 母体産児/疾患をもつ新生児と家族への看護

第2章●先天異常と看護

先天異常とは/単一遺伝子疾患/染色体異常/多因子遺伝疾患/先天的な問題をもつ 子どもと家族への看護

第3章 ●代謝疾患と看護

代謝疾患/代謝疾患をもつ子どもと家族への看護

第4章 内分泌疾患と看護

下垂体疾患/甲状腺疾患/骨・副甲状腺疾患/副腎疾患/性腺疾患/内分泌疾患をも つ子どもと家族への看護

第5章●アレルギー疾患と看護

アレルギー疾患/アレルギー疾患をもつ子どもと家族への看護

第6章 免疫・リウマチ性疾患と看護

免役疾患/リウマチ性疾患/免疫・リウマチ性疾患をもつ子どもと家族への看護

第7章 感染症と看護

ウイルス感染症/細菌感染症/特殊な細菌・真菌・その他の感染症/感染症に罹患し

た子どもと家族への看護

第8章●呼吸器疾患と看護 上気道の疾患/気管支・肺の疾患/呼吸器疾患をもつ子どもと家族への看護

第9章●循環器疾患と看護

先天性心疾患/後天性心疾患/循環器疾患をもつ子どもと家族への看護

第10章●消化器疾患と看護

食道の疾患/胃・十二指腸の疾患/小腸・結腸の疾患/直腸・肛門の疾患/横隔膜の 疾患/肝・胆道・膵の疾患/腹膜・腹壁の疾患/消化器疾患をもつ子どもと家族への

第11章 图・泌尿器・生殖器疾患と看護

腎疾患/泌尿器疾患/生殖器・外性器疾患/腎・泌尿器・生殖器疾患をもつ子どもと 家族への看護

第12章 血液疾患と看護

血液疾患/血液疾患をもつ子どもと家族への看護 第13章 腫瘍性疾患と看護

腫瘍性疾患/腫瘍疾患をもつ子どもと家族への看護

第14章 神経系疾患と看護

神経疾患/外科治療対象の神経疾患/筋疾患/神経系疾患をもつ子どもと家族への看護 第15章 運動器疾患と看護

先天性疾患/後天性疾患/運動器疾患をもつ子どもと家族への看護

第16章●神経発達症・心身医学的問題と看護

神経発達症/心身医学的問題/神経発達症・心身医学的問題をもつ子どもと家族への 看護

第17章 眼疾患と看護

眼疾患/眼疾患をもつ子どもと家族への看護

第18章 耳鼻咽喉疾患と看護

耳疾患/鼻疾患/咽頭・喉頭疾患/耳鼻咽喉疾患をもつ子どもと家族への看護

母斑/湿疹・皮膚炎/感染性皮膚疾患/皮膚疾患をもつ子どもと家族への看護

第20章 外傷・救急と看護

第21章●地域における医療的ケア児と家族への看護

在宅への移行準備/主な医療的ケアを必要とする子どもと家族への看護

第22章●移行期医療支援